

『エコノミア』 総目次

〈表示項目：著者名・論文名・ページ〉

第61号(1978年)

佐藤信吉教授停年退官記念

縫田,清二

序文

1-ii

大山,政雄

序に代えて

iii

大山,政雄

〈論文〉情報戦略の課題

1-14

奥村,憲一

〈論文〉経営社会化と経営・社会モデル

15-57

大藪,俊哉

〈論文〉本支店会計再考

59-84

楠井,敏朗

〈論文〉マックス・ヴェーバーの「都市論」(2)完

85-114

吉田,彰

〈論文〉管理会計情報へのアプローチ：カレント・コスト会計との関連において

115-126

稲葉,元吉

<論文>企業組織の成長と衰退

127-143

笹井,均

<論文>Nonlinear Program と Minimax Problems

145-150

臼井,功

(佐藤信吉教授停年退官記念)

151-171

東田,啓

<論文>経済仮説の統計的検定について

173-184

佐藤,信吉

佐藤信吉教授の経歴・業績・研究歴

185-196

第62号(1978年)

宇田川,璋仁

<論文>租税特別措置と公共選択

1-10

楠井,敏朗

<論文>19世紀中葉の世界市場：マルクス主義成立の現実的基盤

11-44

山下,正毅

<論文>模索過程と一般均衡

45-75

藪下,史郎

〈論文〉「在庫および産出量の短期動学分析」

77-94

石倉,一郎

〈批判と反省〉生産的労働の理論：飯盛信男氏の著書にふれて

,95-102

第63号(1979年)

勝田昌二教授定年退官記念

大山,政雄

序文

I

縫田,清二

献辞 ii-iv

大崎,平八郎

〈論文〉ソ連新憲法の特質について：1936年憲法と比較して

1-34

神代,和俊

35-69

稲葉,元吉

〈論文〉組織風土の刷新について

71-91

鎌田,武治

〈資料紹介〉Thomas Hodgskin Papers について：リカードゥ派社会主義文献・資料
研究

93-109

若杉,明

〈新刊紹介〉染谷恭次郎著『国際会計-新しい企業会計の領域』中央経済社 昭和53年
3月1日 5+254ps.,2,500円

111-112

萩原,伸次郎

<新刊紹介>杉本昭七著『現代帝国主義の基本構造』現代資本主義叢書 6 大月書店,1978年4月 XIV,202,3頁,1,400円

112*-114

勝田昌二教授の経歴・業績

115-117

第64号(1979年)

楠井,敏朗

<論文>アメリカ独占資本形成期の金融構造(上)：「都市」と「農村」の利害対立および「国内派」と「国際派」の資本間対立の金融史的背景をめぐる一考察

1-50

奥野,正寛

<論文>労働のインセンティブと賃金体系

51-59

藤森,頼明

<Articles>Outputs, Values and Prices in Joint-Production

61-87

藤井,忠

<海外研究随想>ウィーン断章

89-106

久留島,隆

<新刊紹介>高鳥正夫著『会社法』(昭和53年 慶應通信)358頁 2,500円

107-108

第65号(1979年)

内田,芳明

<Articles>Max Weber und Karl Marx : Zur Entstehung der Soziologischen Methoden bei Max Weber

1-28

山下,正毅

<論文>新 SNA の基本構造

29-60

権上,康男

<論文>19 世紀末・20 世紀初頭におけるフランスの通貨・信用構造とフランス銀行の「高正貨準備」

61-113

楠井,敏朗

<論文>アメリカ独占資本形成期の金融構造(下) : 「都市」と「農村」の利害対立および「国内派」と「国際派」の資本間対立の金融史的背景をめぐる一考察

115-172

大崎,平八郎

<学界展望>「スターリン問題」をめぐる最近の学界動向

173-188

藤井,忠

<海外研究随想>ウィーン断章(その二)

189-204

第 66 号 (1980 年)

清水新教授・杉本俊朗教授・久保村隆祐教授定年退官記念

成田,頼明

杉本俊朗先生を送るにあたって

1-2

今泉,敬忠

<論文>Protection and Indemnity Club の設立理由に関する一考察

133-157

久留島,隆

〈論文〉商法の繰延資産規定をめぐる諸問題

159-189

阿部,周造

〈研究ノート〉購買意図と2項誤差モデル

245-258

東田,啓

〈研究ノート〉内部組織の経済学と経営組織論

259-277

清水新教授の経歴と業績

279-280

杉本俊朗教授の経歴と業績

281-282

久保田隆祐教授の経歴と業績

283-286

成田,頼明

序

I-ii

合崎,堅二

献辞

iii-iv

鎌田,武治

〈論文〉トーマス・ホジスキンの研究：19世紀初葉のイギリスにおけるあるラディカル
の思想の航跡(I)

1-69

加納,悟

71-80

村松,茂美

〈論文〉アダム・スミスにおける服従の原理：経済論との関連において
81-101

若杉,明

〈論文〉継続性の原則再考
103-118

稲葉,元吉

〈論文〉企業組織の研究方法について
119-132

楠井,敏朗

〈研究ノート〉19 世紀アメリカ資本主義像の再検討：最近のわが国アメリカ資本主義
研究の回顧と展望
191-243

第67号(1980年)

中村,静治

〈論文〉大量生産と大量生産方式(体制)の概念
1-32

東田,啓

〈論文〉組織均衡の理論：サイモン命題の批判と新たな展開
33-54

境,忠宏

〈論文〉社会的動機と対人行動：とくに集団主義的行動との関係
55-76

円谷,峻

〈Articles〉Zwei Entscheidungen über die Haftung des Warenherstellers in
Japan : Sogenannte "KANEMI (Olschadens) FALLE"

77-104

高崎,仁良

〈研究ノート〉再販制度の再考察

105-117

箕輪,京四郎

〈調査資料〉ある輸入取引の記録：北洋材の成約から代金決済まで

119-132

鎌田,武治

〈新刊紹介〉岸田理『ウォルター・バジヨットの研究-経済思想および経済理論を中心として』（1979,ミネルヴァ書房）X+276P.+30.276p.+30.2,700円

133-134

第68号（1980年）

中村,静治

〈論文〉テラー・システムの技術史・経営史上の地位と役割

1-35

鎌田,武治

〈論文〉トーマス・ホジスキンの研究：19世紀初葉のイギリスにおけるあるラディカル
の思想の航跡(II)

37-90

藪下,史郎

〈Articles〉Labor Market, Wage Rigidity and Unemployment : Recent
Developments in the Economics of Labor Market

91-128

藤井,忠

〈海外研究随想〉ウィーン断章(その三)：主にオーストリア人の自己意識をめぐって

129-153

宇田川,璋仁

〈海外学会消息〉「第 35 回国際財政学会」

154-155

第 69 号 (1980 年)

権上,康男

〈論文〉インドシナ銀行の創設：1875 年

1-36

西村,周三

〈論文〉アメリカの被用者退職所得保障法 (ERISA) の最近の動向(上)：企業年金制度の
経済学的考察

37-42

鎌田,武治

〈論文〉トーマス・ホジスキンのエディンバラでの挫折：19 世紀初葉のイギリスにおけ
るあるラディカルの思想の航跡(Ⅲ)

43-62

藪下,史郎

〈研究ノート〉不確実性下の企業行動に関する覚書

63-66

大崎,平八郎

〈学会消息〉社会主義経済学会第 20 回大会

67-68

田代,洋一

〈学会消息〉日本農業経済学会 1980 年度大会

68*-70

第 70 号 (1981 年)

田代,洋一

〈学会消息〉日本農業経済学会 1980 年度大会

68*-70

宇田川,璋仁

〈論文〉米国カリフォルニア州の固定資産税：「タックス・レヴォルト」(プロポジション 13)以後の問題点

1-12

倉沢,資成

〈論文〉自動車事故の費用負担について

13-25

碓井,光明

〈論文〉公益事業の料金決定について

26-40

鎌田,武治

〈論文〉トーマス・ホジスキンの London Mechanics' Institution：19世紀初葉のイギリスにおけるあるラディカルな思想の航跡(IV)

41-63

西村,周三

〈論文〉アメリカの被用者退職所得保障法(ERISA)の最近の動向(下)：企業年金制度の経済学的考察

64-79

縫田,清二

〈学会消息〉社会思想史学会第5回大会

99*-100

宇田川,璋仁

〈学会消息〉日本財政学会第37回大会

100*-101

大澤,康孝

〈学会消息〉日本私法学会第44回大会

101*-102

松元,宏

<書評>高村直助『日本資本主義史論-産業資本・帝国主義・独占資本』(1980.4 ミネルヴァ書房 vi+280+5p.)

80-87

ルービン,イ; 佐藤,金三郎(訳)

<翻訳>イ・ルービン『経済学批判』と『資本論』における価値と交換価値

88-97

高島,光郎

<学会消息>経済学史学会第44回大会

98-99